



# 横浜陶芸友の会だより

第 162 号

平成 27 年

7 月 1 日 発行

## 「新年度にあたり」

会員の皆様お元気ですか。

高橋光男

陶芸のマイブームも去って 10 年経ち、横浜陶芸友の会は 4 月に創立 41 年目に入りました。例年の行事である作品展及び焼成会に加えて創立 40 年の記念式典（懇親会）をホテル横浜ガーデンにおいて、10 月 3 日（土）12 時から 14 時で計画いたしました。

作品展開催時に行っている懇親会に参加できない方及び年配者にも配慮いたしました。友の会の会員数が年々減少して 60 余名になり、どうしたら仲間を増やすことができるか、また友の会が会員にとってより魅力のある会になれるのかを皆で声を出し合って行動していただければと思います。  
この機会に仲間同士の触れ合いを通して、お互いの知識や技術で陶芸の楽しみを深めていく中で、知り合いを誘い込んでの会員増員など横浜陶芸友の会の更なる発展に向けてご協力をお願いいたします。

## 総会の報告

5 月 16 日（土）13 時より新緑の美しい季節に 18 名の会員が集まり各議案について報告、審議がされました。

- ・ 会長の挨拶
- ・ 議長書記の選出
- 議事 26 年度事業報告

決算報告  
監査報告

27 年度事業計画

会計予算

新役員の改選

- ・ その他
- ・ 創立 40 周年記念行事を 10 月 3 日（土）に開催予定
- ・ 40 回作品展の計画
- ・ ホームページ委員会は広報委員会に組み込まれました。
- ・ 総会に、より多くの会員に参加していただけるように案内の方法を検討中



今年の総会風景・・・淋しいかぎり・・・

## 平成 26 年度 事業報告（事業部）

【作品展】 平成 27 年 1 月 13 日（火）

～ 18 日（日）

6 日間「かなつくホール」にて「友の会作品展」が開催されました。

（入場者数） 7 5 5 名 （出展者数） 40 名  
（作品出展数） 3 6 6 点でした。

・「かなつくホール」は駅から近く、作品の搬出入もしやすいということで、昨年と同様の会場にいたしました。搬出入も車から、交

通機関を利用しての方が、多くなりました。  
 ・昨年同様というところで、展示もスムーズに、短時間で行うことができましたが、搬出時、大事な作品が壊れた方がおりましたので、今後はみなさんの状況を細かく、確認しながら、行いたいと思います。

・当番はじめ、今年度も会員の皆さまのご協力に感謝申し上げます。  
 来年度もご協力をお願いいたします。  
 ・詳細は、前号に記載されておりますのでご参照ください。

**新年度計画（事業部）**

今年度の事業部の活動は、「作品展」と、「窯場見学会の支援」です。

**「作品展」**

「色々あり、作陶も難しくなった」との声も聞きますが、「やれる時間、体力や気力に合わせて、無理せずにやる作陶も大事なんだ」と、自分に言い聞かせている私です。作品展で、皆様の色々な作品をみせていただき、意欲と、元気をいただいているのは、私だけではないと思います。

\*今年も「作品展」

「作品展」の会場につきましては、八月の役員会で報告いたします。

\*今年度の特設コーナー課題は「抹茶茶わん」

です。

皆様の力作を期待しています。

\*以前に作られた作品でも、一度出品した作品でもかまいません。

**「窯場見学会やってみませんか」**

「見学会の支援」とは、立案者がいましたら支援をさせていただきます。

見学会のことで何かありましたら、いつでも声をかけてください。できることは、お手伝いいたします。

「窯場見学会」の計画、実施も楽しいですよ。素敵な出会いがあり、感動いっぱいですよ。どなたか、やってみませんか？  
 やりだしたら、やめられなくなりますよ。

(清水)

**「会計部」より**

会計部長が諸事情で1月末に退会されたので、26年度決算書及び27年度予算書作成作業を石井会計監査役に助言を頂き、書面の確認は会長にお手伝いいただきました。

**「もったいないコーナー」**

★灯油窯を差し上げます。

シンポ製 KTB 90S 窯内寸法

間口74cm 奥行47cm 深さ56cm

ご希望の方は連絡ください。

★不用の電動ろくろがありましたらお知らせください。

広報部



今年の  
作品展より





# 陶陶さん

第 84 号

あかほし

異常気象が  
続きそう、健康  
に気をつけて  
のんびりと



ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより  
第 162 号  
(平成 27 年 7 月 1 日発行)  
発行人 横浜陶芸友の会  
会長 高橋 光男  
編集責任者 広報部長 吉良謙

## 専修部 秋期焼成会のお知らせ

「友の会だより 161 号 (27.4.1)」でもお知らせしたように、27 年度の焼成会も「木の葉天目」を行います。焼成方法等を種々検討した結果、高い確率で木の葉の転写を実現することができました。かなり期待できますので、多くの方の参加をお待ちしております。

### <実施内容>

- 1 木の葉天目への参加
  - (1) 焼成済みの天目作品をご持参ください。器の形は、カーブのきついものは葉の灰が定着しにくいので、皿などある程度底面積のあるもの。なお、ご自身で焼成できない場合は、7 月上旬までに井上 (TEL /Fax ) までご連絡ください。こちらで焼成します。
  - (2) 素焼き済み作品で参加することもできます。(この場合は昨年と同様、受付日に天目釉掛けとなります。)
  - (3) 木の葉を抑える陶片をご持参ください。
- 2 例年通り、天目以外の釉薬や白化粧作品の焼成も受付します。
- 3 日程(時間厳守)
  - o 作品受付 9 月 6 日(日) 10 時~11 時
  - o 釉薬掛け 9 月 20 日(日) 9 時~11 時 30 分
  - o 作品引渡 9 月 27 日(日) 10 時~11 時
- 4 焼成代
  - o 素焼きと本焼き 100g 100円  
従来 180円でしたが今年度は試行的に値下げしました。

### 編集後記

赤星さんには毎回ウィットに富んだ四コマ漫画「陶陶さん」の原稿を締切に遅れずに寄せて頂いております。編集後記に毎回苦労する身には感謝感謝です。表札と言えば、京都の町家の入口に洒落た事をするなど思ったことが有ります。こんな使い方もあるんですね。

今年もあっという間に半年がたつてしまいました。特に最近、時間が早くたつたのを感じています。

今年の後半は、創立 40 周年記念式典(懇親会)や昨年に引き続きの木の葉天目の焼成会(専修部)など興味ある行事が目白押しです。是非皆さん、ふるって参加されてみてはいかがでしょうか?

季楽軒  
大日方